

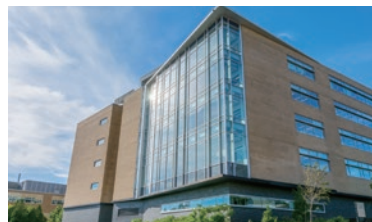
提携活動

■ Domain Therapeutics社、Montréal大学と創薬提携

2022年4月、フランスのDomain Therapeutics (ドメイン社) およびカナダのUniversité de Montréal (モントリオール大学) と、新たに代謝性疾患領域におけるGタンパク質共役受容体 (GPCR) を標的とした新規の低分子化合物の創製を目的とした創薬提携契約を締結しました。本契約に基づき、ドメイン社がモントリオール大学から導入したGPCR創薬プラットフォームであるbioSens-All[®] 技術、およびGPCR創薬におけるGPCRに対する革新的な低分子化合物の創製に取り組みます。



ドメイン社



モントリオール大学 (Photo: Grégory Emery)

■ 米国Fate Therapeutics社と提携を拡大



フェイト社

2022年6月、米国Fate Therapeutics, Inc. (フェイト社) と、2018年9月に締結したiPS細胞由来のキメラ抗原受容体 (CAR) -T細胞治療薬の創製を目的とする創薬提携を拡大する契約を締結しました。今回の創薬提携の拡大で、固形がんに対する二つ目の標的をフェイト社に追加提供するとともに、iPS細胞由来CAR-T細胞に加えてCAR-NK細胞を追加し、がん患者さんにとってファーストインクラスの新たな細胞治療法の開発を目指します。

共同研究

■ 株式会社ナレッジパレットと共同研究の拡大についての契約を締結

2022年8月、株式会社ナレッジパレット (本社: 神奈川県川崎市) と、同社の大規模トランスクリプトーム解析技術を活用した、データ駆動型の新薬創出基盤の構築を目的とする共同研究を拡大する契約を締結しました。今回の共同研究の拡大により、多種類の化合物で処理したヒト細胞や遺伝子機能阻害等の摂動を与えたヒト細胞における遺伝子発現パターンの全体像を、ナレッジパレットが有する大規模ト

ランスクリプトーム解析技術を活用して、データベース化します。そのデータベースを活用して、得られる網羅的細胞データを情報科学的アプローチにより解析することで、数多くの新規創薬標的となりうる分子メカニズムを明らかにし、データ駆動型の新薬創出の基盤構築に取り組みます。将来的には、より大規模に高精度な網羅的細胞データを追加取得し、広範な疾患領域に対して新規の創薬仮説を創出することに期待しています。



ナレッジバレットの研究所が入る
クリエイティブラボ神戸（建物左）

子会社の設立

■ 小野薬品ユーディ株式会社を設立

2022年4月、障がいのある方の雇用という社会課題の解決に貢献することを目指し、当社全額出資の子会社「小野薬品ユーディ株式会社」を設立し、10月に特例子会社[※]として認定されました。まずは印刷事業から手掛け、多種多様な業務においても障がいのある方が働きがいをもって、能力を十分に発揮できる機会を提供していきます。

[※]特例子会社：「障害者の雇用の促進等に関する法律」に基づき、企業が障がいのある方の雇用の促進を目的に設立する子会社のことです。親会社が障がい者の雇用に特別な配慮をした子会社を設立した場合、一定の要件を満たし厚生労働大臣の認定を受けることで、親会社と合わせて障がい者の雇用率を算定できます。

■ 小野デジタルヘルス投資合同会社、業務を開始

2022年7月、医薬品事業以外のヘルスケア分野のベンチャー企業等へ投資を行うコーポレートベンチャーキャピタル(CVC)として設立した「小野デジタルヘルス投資合同会社」(2022年3月設立)が投資事業を開始しました。ヘルスケア分野への関心が高まるなか、デジタル技術を活用して疾病予防やQOL(生活の質)の向上など、健康に関する社会課題の解決に取り組むベンチャー企業が増えており、同社は、国内外の有望なベンチャー企業と、当社および関係会社との協業等を通じて、健康寿命の延伸と持続可能な社会の実現に取り組みます。

なお、創薬関連のバイオベンチャー企業等への投資は、2020年5月に米国で設立したCVC「Ono Venture Investment, Inc.」が、引き続き取り組んでいます。

【小野デジタルヘルス投資合同会社のホームページ】 <https://www.onodigitalhealth.com/ja> ▶



CSR活動

■ ESG投資指数の構成銘柄に継続選定

2022年度も、以下の各団体が提供するESG(環境・社会・ガバナンス)投資指数の構成銘柄に選定されました。

5年連続	<ul style="list-style-type: none"> ・「S&P/JPX カーボン・エフィシエント指数」 (東京証券取引所およびS&Pダウ・ジョーンズ・インデックス社) ・「FTSE4Good Index Series」 「FTSE Blossom Japan Index」(FTSE Russell 社)   
4年連続	<ul style="list-style-type: none"> ・「MSCIジャパンESGセレクト・リーダーズ指数」(MSCI社) 
新規	<ul style="list-style-type: none"> ・「FTSE Blossom Japan Sector Relative Index」 (FTSE Russell 社) 

なお、「MSCIジャパンESGセレクト・リーダーズ指数」、「FTSE Blossom Japan Index」、「FTSE Blossom Japan Sector Relative Index」および「S&P/JPX カーボン・エフィシエント指数」は、世界最大規模の年金基金である年金積立金管理運用独立行政法人(GPIF)が投資対象を選定するにあたり採用している指数です。

免責事項:

小野薬品工業株式会社のMSCIインデックスへの組み入れや、本件お知らせにおける本投資法人によるMSCI社のロゴ・商標・サービスマーク並びにインデックス名の使用は、MSCI社及びその関係会社による小野薬品工業株式会社へのスポンサーシップ、宣伝、販売促進を企図するものではありません。MSCI指数はMSCI社に独占権があり、MSCI社及びMSCI指数及びそのロゴは、MSCI社及びその関連会社の商標・サービスマークです。

コーポレートレポート2022を発行

2022年9月、当社の情報を網羅した統合報告書「コーポレートレポート 2022」を発行しました。

これまでの会社のあゆみや、経営方針、研究開発状況、人財やデジタル・ITに関する取り組みなどに加え、今回は2021年度に再特定した18の経営全般のマテリアリティ(重要課題)について詳しく紹介しています。

また、トップメッセージや、経営トップと社外取締役3名が当社の現状や将来の成長に向けた展望などについて語り合った対談などもあり、当社の今がよくわかる一冊になっています。

レポートは当社ホームページに掲載しております。下記の2次元コードからぜひご覧ください。



【コーポレートレポート 2022】

https://www.ono-pharma.com/ja/ir/library/integrated_report.html

